



## カラミ織の繊細な表情を活かした照明器具

合織のカラミ織り生地を製造販売。法衣向け。カラミ織物を2枚重ねると、波打つような表情モアレ(干渉縞)が発生する。自社のカラミ織を使用し不思議な立体感と幻想的な光を発生するインテリア照明『モアレマジック』を商品化。

### 業況等の動向について

#### 本業の動向について

主業は合織のカラミ織生地の製造販売。カラミ織とは、2本のたて糸を横糸に挟み込むように交差させながら織る、織物。法衣向け。法衣市場はニッチ市場でサプライヤーの数が限られている。そのため、流行や不況の影響を受けず堅調に推移している。

#### 参入事業の内容

カラミ織は目の粗い織物。カラミ織を2枚重ねると波打つような表情、干渉縞が生まれる。この繊細な表情をデザインとした照明器具を開発した。この波打つような不思議な表情、モアレを『モアレマジック』と名付け、商標登録し、福井県と共同特許出願中である。2011年2月、ホテル・旅館・飲食業界向けの展示会「ホテルズ・ジャパン」に出展したところ好評であり、数多くの商談を得た。しかし3月の東日本大震災の影響で出端をくじかれた。今後の展開を期待したい。

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

福井県は合織の一大産地だが、生地のみで最終製品を手掛けているところは非常に少ない。自社の特殊な生地であるカラミ織物を使用した最終製品を持つべきだと考え、商品開発を行なった。

#### 参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果としては、福井県工業技術センターと共同研究を行い織組織、相対角度による模様の変化、配色効果等、モアレ発生基礎研究を行い、幻想的で不思議な光の照明を開発した。困難だったことは、製品の良さ、製品をいかに知ってもらえるかである。現在の販売ルートは、自社HPと47クラブというネット通販。(よんななクラブ。全国の地方新聞が推薦する商品を扱うネット通販) モアレ(波打つような表情、干渉縞)は、立体感と躍動感がある。画面を通して、それを知らしめるには、限界があると感じている。売るための手だてなど、営業面で課題をもつ。

#### 今後の展望・見通し

モアレを図案化し、プリントした生地はあったが、モアレそのものを見せる製品は、これまでなかった。『モアレマジック』照明は、見る角度で表情や色合いが変わり、動きも生ま

れる。展示会では、お客様の反応も良く様々な業界での需要が考えられるが商品特性を、紙・ネットの媒体を通じて知らしめるには限界がある。実際に見て、触れてもらうのが一番と考える。そのための仕掛けづくりが必要。手始めに、法人向けに照明を貸し出すサービスを始め「ホテルズ・ジャパン」等展示会には継続して出展を行なう予定である。

#### メリット・デメリット

メリットは最終製品を扱うことで、会社のイメージアップになったこと。デメリットは販売先、販路を見つけることに困難を感じる。

#### 異業種参入時のアドバイス

「こういうことがやりたい」という思いは、多くの人を持っているかもしれない。しかし多くの時間、資金がかかるので、限られた資源の中でどうやりくりしていくか見極めが必要。

### 行政の支援について

#### 異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

ふくい産業支援センター【ふくいの逸品創造ファンド事業】

福井県工業技術センターとの共同研究

#### 異業種参入に際し、行政に対して望む支援

販路開拓の支援、アドバイス

#### 会社概要

設立:1973年(昭和48年)

資本金:1,000万円

従業員数:3名

URL:<http://www.fubisya.com/>